

神戸大学海事博物館企画展

船員を目指して

～海・船を知る、練習船での洋上実習～



登舷礼とうげんれい



登舷礼とうしょうれい



左上:汽船・大成丸の出港(登舷礼:出入港時に船の側面に整列して行う挨拶) 右下:帆船・日本丸、海王丸の出港(登舷礼:出入港時にマストに登って行う挨拶)

同時
開催

知られざる船舶画家・伊藤安次郎

～その生涯と作品～

愛宕山丸



2026年 2027年
10/9(金) 8/6(金)

来館のご案内とアクセス

■開館日: 月・水・金の13:30～16:00(祝日を除く)
ただし、2026年12/25(金)～2027年1/8(金)、
3/12(金)は休館。
その他の休館は随時ホームページに掲載

■入館料: 無料

お問い合わせ・連絡先

海事博物館 Tel:078-431-3564

(博物館事務室は上記の開館日と開館時間に同じ)

<http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp>



阪神電車を利用される場合

深江駅から南西へ徒歩約10分
▲上記地図で参照



神戸大学
海事博物館

海と船の過去、今、夢ある未来が詰まった博物館

主催: 神戸大学海事博物館 協力: 一般社団法人 海洋会・一般財団法人 梅本靖之記念財団 協賛: 同窓会 海神会



神戸大学海事博物館企画展

船員を目指して

～海・船を知る、練習船での洋上実習～

船に乗って働く人＝船員にどうやってなるか、ご存じでしょうか。船員への道は様々ですが、おもに高校生以上の方が船員※1を目指すときは、養成機関で海や船に関する専門知識を身につけたうえで、海技士資格が取得できます。特に、実際の船に乗って実地に訓練を積むことが重要とされており、慣海性※2を養い、シーマンシップを育む教育の場が「練習船」です※3。

日本で西洋型船舶の船員教育が始まった明治時代から、各学校で現場実習が行われましたが、さらに安全で充実した実習を行うため、文部省は航海練習所に続き1930（昭和5）年に航海実習をするための機関として航海訓練所を設け、専用の大型練習船を整えてきました。現在も帆船の日本丸・海王丸、汽船の大成丸・銀河丸・青雲丸が活躍し、毎年数多くの船舶職員になる若者を送り出しています。神戸大学も、船舶職員としての海技士資格が得られる海洋政策科学部を有する大学として、神戸高等商船学校や神戸商船大学の時代から船員教育の一端を担っています。

今回は海や船について実地に学ぶ練習船における洋上実習について、代表的な大型練習船の特徴や具体的な昔と今の実習内容などを、豊富な写真や道具・器機といった資料を揃え、紹介します。展示を見て興味を持った若い方が船員を目指し、あるいは海や船に関わるさまざまな仕事への理解を深めるきっかけとなれば幸いです。



揚投錨（ようとうびょう：錨の操作）の実習



帆船のヤード（帆桁）一斉旋回



集合・点呼作業



明石海峡の通過



実習学生の制服

※1 船員は海技士資格を有する「職員」と職員を補助する「部員」に分けられます。ここでは船舶職員（海技士）の場合で述べています。

※2 かんかいせい。船員として必要な資質の一つで、文字通り海や船に慣れ親しみ、船上生活に適應する能力のこと。

※3 練習船には、貨物船や客船などの一般商船の船員を養成する航海練習船、漁船の船員養成を担う漁業練習船（実習船）、海上保安官を養成する練習船などがあります。ここでは、かつて航海訓練所の所管にあった航海練習船を取り上げています。



同時
開催

知られざる船舶画家・伊藤安次郎

～その生涯と作品～



伊藤安次郎氏（1888-1953）は、川崎造船所の技師として商船の内装デザインを手掛けたかわら、川崎造船所をはじめ、各地の造船所で建造された船舶の進水記念絵葉書の作者として活躍をした画家です。同じく進水記念絵葉書などの船舶画で知られる、大久保一郎氏や山高五郎氏といった画家と相並ぶ存在でしたが、戦後間もなく亡くなられたため、今日彼の業績を知る人はほとんどおりません。本展示では当館に一括寄贈された伊藤安次郎の絵葉書、その原画といった作品や関連資料を集成し、初となる回顧展を開催いたします。太平洋戦争を挟んで、貨客船が海の主役であった時代を支えた伊藤安次郎氏の生涯と作品をご堪能ください。

左上から：出雲丸、建洋丸、第三宇高丸、東栄丸、金華丸ダイニングルーム

関連行事

市民セミナー

船員を目指して

11月21日（土）13～17時。会場：梅木Yホール。講師：石原達哉氏（海技教育機構神戸分室）、引間俊雄氏（海技教育機構元理事）。

ワークショップ

タオルアニマルを作ろう

7月24日（金）、27日（月）14～15時30分。会場：梅木Nホール。講師：上杉恵美氏（明海大学客員教授）。事前申込制。